

関西新幹線サービックと職場改善要求について 団体交渉開催！！

3月27日、JR東海労関西地本は、株式会社関西新幹線サービックと「発」第8号に基づく鳥飼事業所等における職場改善要求について団体交渉を開催しました。

出席者は、組合側より柳楽地本副委員長、西地本教宣部長、高木大阪車両所分会執行委員。会社側は、山崎事業部担当部長、下田事業部担当部長、馬場人事勤労課課長、八木人事勤労課係長でした。

1 勤務について

(1)休日出勤は本人の同意を得ること。

【回答】会社は就業規則に基づき休日勤務を指示しており、本人の同意を得る考えはない。

(2)公休基本パターンを開示すること。

【回答】公休基本パターンはない。

(3)休日予定を変更する場合は本人の同意を得ること。

【回答】休日予定は存在しない。

(4)年休の請求理由の取り扱いを明らかにすること。

【回答】年休の請求理由は必須ではないが、年休の時季指定が競合した場合、優先順位を付けることを目的として記載する欄を設けている。

(5)第42条2項について、年休の請求を前々日から前日に改めること。

【回答】そのような考えはない。

(6)作業着手が勤務終了時間を過ぎた場合の超勤は本人の同意を得ること。

【回答】会社は就業規則に基づき超勤を指示しており、本人の同意を得る考えはない。

(7)昼休憩は社員食堂の営業時間である11時00分から13時30分の間とすること。

【回答】そのような考えはない。

(8)12月分の年休の届け出は、翌年1月5日までとすること。

【回答】質問の主旨が不明である。

(9)勤務指定表は毎月25日の午前中に手交すること。

【回答】勤務指定表は毎月25日に発表しており、そのような考えはない。

(10)新型コロナの感染者や濃厚接触者が拡大する前に時短の対応を実施すること。

【回答】必要により時短などの対応を実施している。

2 作業について

(1)小A作業がもたれシート全数取替になったことから作業時分を見直すこと。

【回答】作業時間は充足しており、作業時分を見直す考えはない。

(2)連続作業は3本までとすること。

【回答】連続作業が何を指すのか不明だ。現状で対処されたい。

(3)8本以上の作業には1本当たり1,000円の手当を支給すること。

【回答】そのような考えはない。

(4)交検班の雨対策が遅れている理由を明らかにすること。(雨合羽等)

【回答】レインジャケットについては、1月中旬から作業者に順次配布済みである。

(5)夏季及び冬季における担務ユニットへの車内移動を認めること。

【回答】そのような考えはない。

(6)JR出向者の管理者(マネージャー)も一般職と同様に箱作業を行わせること。

【回答】一般職と同様に整備作業を行っている。

(7)グリーン車担当者の作業分担の見直しを行うこと。具体的には、グリーン担当者Aの作業量が多い。担当Bが毛布、フィットレスト確認は目視のみとすること。

【回答】質問の意図が不明であるが、そのような考えはない。

3 その他

(1)各サービスデッキに設置されている足拭きマットを交換し、定期的にマット洗浄機により清掃を行うこと。

【回答】足拭きマットについては必要により対応している。

(2)線路横断ができないとの理由から特定の社員を特定の担務箇所に配置しているために不公平が生じている。線路横断が出来ない社員には、線路横断訓練を実施し、不公平を解消すること。

【回答】線路横断については、命の危険に関わることであり、不公平ということではない。なお、必要な社員教育を行っている。

(3)サービック各事業所は慢性的な要員不足の中にあつて、本人が希望していないJR出向者(管理者)の再雇用は実施し、希望するJR出向者(一般社員)の再雇用は行わないという不利益扱いは直ちに中止し、70歳までの就業機会の確保をめざす政府の推進する改正高齢者雇用安定法の趣旨に沿って、努力義務を果たすこと。また、努力義務を果たしていると貴側が主張するなら、その内容を具体的に明らかにすること。

【回答】改正高齢者雇用安定法による70歳までの就業機会の確保は実現している。

(4)サービック各事業所では、慢性的な要員不足の中で、特に、鳥飼事業所においては休日勤務や勤務変更が多発している。早急に要員の確保を行うこと。

【回答】要員の確保については、適時適切に努めている。

『若干のやり取り』

○休日出勤について

組合：休日出勤で「本人の同意を得る考えはない」という事は、これは就業規則に同意を求めなくてもいいと書いてあるのか。

会社：就業規則というが、36協定を結んでいて時間外労働が可能となっている。

組合：時間外労働だったら何でも勤務を作ってよいという事か。

会社：法律にそってやっています。

組合：年間休日は113日と就業規則に書いてある。25日の勤務発表の段階で、多い人は3日くらい休日出勤が入っている。本来だったら9か10個位は休日がある。年間113日を

就業規則で保証している。でも、蓋を開けてみると、本人の同意無しに知らないうちに休日が3日も勝手に勤務になっている。確かに、就業規則で休日出勤を命ずる事ができるが、正当な理由があれば、その限りではないとある。少なくとも、あなたは休日だけど、何日と何日は、悪いけど協力してください。休日出勤が入りますくらいの事は勤務発表前にやらないと予定が入らない。月の休みが6日しかない、年間の113日の休日を10日も15日も取られている。

会社：予定欄の所には時季指定を入れて頂いて、時季指定の年休は入っているんじゃないんですか。

組合：そんな事を言っているわけじゃない。鳥飼の場合は、公休日は分かってる。水曜公休、木曜公休と3ヶ月に1回ずれていく公休日のパターンは新大阪第一事業所も出している。公休日のパターンを、知らないのか。

会社：新大阪第一事業所でもパターンをずらしている。

組合：(新大阪第一事業所) 公休のパターンを張り出している。何でかといったら休日に年休が取れないからだ。

会社：被らないようにという事ですか？

組合：そういう事、何もない中で年休を届け出て、そこが公休になるなんて事は現実的にはあり得ない。就労の義務がある日を、消滅させるのが年休の時季指定だから、もう一回復活させるのは時季変更権しかない。

会社：そうですね。

組合：だから休日予定表を出せといっている、公休のパターンをはっきりさせろと言う主旨がある。

会社：休日予定を出すと今度は逆に電車が入ってくる本数とかで変わってくる。それに柔軟に対応できなくなる。

組合：それは会社の都合だ。

会社：勤務予定表を出してなかったら、1ヶ月なにも予定が立たないという事ですね。予定がある所は年休を入れて頂いて、そこが公休になるかもしれない。

組合：年休が余っている人はそれで良いかもしれない。3つや5つしかない人は毎回毎回、そんな事出来ない。(年休) 持ってない人もいる、そのために休日予定があるわけで、休日というのは何曜日です。暗黙の了解にしないで、ちゃんと発表したらよいと言っている。

○勤務発表について

組合：勤務発表も26日にずれ込んでいる。

会社：25日に発表していると思っている。

組合：4月は3月25日の21時である。

会社：3月は21時ですか。23時59分までは一応出している。

組合：日勤が帰るまでに出せ。

会社：鳥飼は一人ずつ手渡しで渡しているのです。

組合：それは26日である。

会社：600人居てる。

組合：それを25日にやれと言っている。

会社：25日の晩に徹夜しないで24日の晩に徹夜して発表しろと言っている。

○議事録について

組合：揉めたケースがある診断書とか、証明持って来いと言っている。

会社：揉めた人がいるという話があるけど。

組合：今回から議事録で確認しないか。

会社：議事録、ちゃんと（団体交渉）をやっている。

組合：後々、揉める儀事録で確認したらよい。

会社：理解が足りないというか、（年休）理由はちゃんと書けという、昔の風習的にはあったじゃないですか。

組合：昔から年休の理由は要らない。

会社：管理者にはちゃんと周知しています。

組合：だからもうそのような事がないように議事録で確認する。議事録を結んで、それで一般掲示に貼ってもらうようにする。

会社：メモして頂ければよい。

組合：議事録を組合側が求めたけれど、会社側としては拒否をすることか。団体交渉の場で組合側が議事録確認を求めたが会社側はそれを拒否したという事でよいか。

会社：いやいや、これまでと変わらない。

組合：こういう経緯で労基署に行こうと思っている。

会社：それはちょっと、ちゃんと本社に確認し、間違ってると言うてくれたらよい。

組合：拒否されるんでしょう。議事録の確認を。

会社：ちゃんと教育します。

組合：教育とかの話をしてない。議事録を結んで下さいって言ってる。

組合の申し入れを拒否するのか。

会社：すぐそっちの方に持っていく。

組合：労基署に、会社に言いましたが拒否された。どうでしょうかと言いに行く。

○京都事業所の要員不足について

組合：京都事業所ですが所長は要員が足りてると言っている。今、外国人のお客さんが増えた影響で、案内所の案内と忘れ物のお客様が多すぎて対応が出来ていない。前日の忘れ物のパソコン入力や、電話で連絡する業務が全然出来ない状態だ。土日には波動という形で要員が1人増えたりはするが、平日の午前中も波動を入れてもらいたい。プロパーからも要望が出ている。今後、中国人観光客が来たらもっと手に負えない状態になる。土日に京都事業所の現場を見に来てもらいたい。